

追記 これらの文献のうち、未見（＋）、現物未確認（\$）、
また未記載の資料をお持ちの方からのご協力を希望した
い。ご連絡をお待ち致しております。

なお前号の「高祖保作品年表（一）」の「I 書目編
著書」末尾の発行年月日を、次のように訂正致します。

・『高祖保書簡集 井上多喜三郎宛』龜鳴屋、平成二十・五・

四

平成二十年一月二十五日 原稿受理

大阪産業大学 教養部非常勤講師

・「牀上偶成」『日本詩』一卷一号(宝文館)、六・一 四四

～四五頁(詩)

・「梅に酔ふ」『短歌詩人』一三卷五号、六・一 九頁(詩)

・「征旅」『日本詩』一卷七号、十二・一 五頁(詩)

題目・発表誌紙未詳

・題未詳『螢雪』回覧雑誌、大正十二～十四頃 頁未詳

・題未詳『中学生』八卷～一二卷(研究社)、大正十二～昭和二頃 頁未詳

・題未詳『若人』一号、大正十四頃 頁未詳

・題未詳『野武士』巻号未詳、昭和七・十か・日未詳 頁未詳(詩) 未見

・題未詳『作家』一卷号未詳(アキラ書房)、昭和八・十一・

日未詳 頁未詳(詩) 未見

・「ロダン」『誌名未詳』巻号、昭和・五・日、頁未詳(面)

・題未詳『誌名未詳』宮部千太郎追悼号(横浜M・Sクラブ)、昭和十三・六 頁未詳

・「余花」『誌名未詳』巻号、昭和十八・三 頁未詳(詩)

・「時至」『誌名未詳』巻号、昭和十八・三か 頁未詳(詩)

・題未詳『声』二輯(声発行所)、昭和十八・五・十五 頁未詳(詩)

歿後発行の誌紙

・「すでに年が老けて」『現代詩』一卷六号(新潟県北魚沼郡詩と詩人社)、昭和二十一・七・一 一二頁(詩)

・「龍のひげ(遺稿)」『ダダ』四冊(ダダの会)、昭和二十二・一・一 頁数なし(二頁)

・「高祖保 最後の手紙」『ダダ』七冊(ひぐりでいや・ぴぐりでいや)、昭和二十二・九・一 頁数なし(二頁)

・「湖畔集より」『不死鳥』五三号、昭和二十二・十二・二 一頁(詩)

・「信濃游草」『青芝』一五号、昭和二十九・十一・一 一〇～一七頁(詩)

・「庚塚句会抄」『青芝』一五号、同右 一八～一九頁(俳句 26)

・「詠草 三十七首」『青芝』一五号、同右 二〇～二三頁(短歌 37)

・「青柳寺晚春図」『青芝』三六号、昭和三十一・八・一 見返し頁(詩) 芝火

・「せみ死す 八幡城太郎に」『青芝』三六号、同右 見返し裏頁(詩) 琥珀

・題なし(高祖保詩集)『なぎさ』一卷一号(京浜急行)、昭和三十一・十一・一 グラビア頁

・「湖のCahierから」『詩学』一〇巻一〇号、昭和三十六・九・

五 一〇〇～一〇一頁

四二頁(詩)

・「花咲かす(国民詩)」「経済ニツボン」八巻一号、一・一頁未詳(詩) §

・「雪あかり」『農政』六巻一号、一・一六一頁(詩)

・「濤標」『詩鬼』一二輯、一・日、頁未詳(詩) §

・「桐の花」(白秋)の色彩観照』『短歌詩人』一三巻一号、

一・一八〜一三頁(一、二)

・「子育木馬」『短歌詩人』一三巻一号、同右 一四〜一五頁(短歌10)

・「わが俳句発想法 ―象徴性と純粹―」『芝火』一三巻一号、

一・一 一〇頁 §

・「去燕来雁歌」『音楽文化』二巻一号(日本音楽雑誌)、一・

一 二七頁(詩)

・「風雅の書 筑紫歳時記」『風流陣』六五冊、一・二十 六頁

・「風流春秋」『風流陣』六五冊、同右 一四頁(書信)

・「騒々亭慰勞句会抄」『風流陣』六五冊、同右 一五頁(署名「高祖」俳句2)

・「元朝」『文藝汎論』一四巻二号、二・一 一〇頁(詩)

・「鶴渡の鶴」『文藝汎論』一四巻二号、同右 一一頁(詩)

・「新しい年への課題」『文藝汎論』一四巻二号、同右 一四〜一七頁

・「編輯後記」『文藝汎論』一四巻二号、同右 頁数なし(裏

表紙 署名「高祖」

・「越年(をつねん)」『新文化』一四巻二号、二・一 三七(三八頁(詩))

・「才に関する陳思」『短歌詩人』一三巻二号、二・一 四〜五頁(詩)

・「登鼓禮」『琥珀』一二巻二号、二・一 一二〜一三頁

・「夢 ―夜間飛行訓練」『週刊少国民』三巻六号、二・十三

一三〜一四頁(詩)

・「桐の花」(白秋)の色彩観照』『短歌詩人』一三巻三号、

三・一 四〜五頁(三)

・「半球の距離」『短歌詩人』一三巻三号、同右 一八〜一九頁(詩)

・「年あゆむ」『多麻』三輯(多麻俳句会)、三・日、頁未詳(詩)

§

・「寒蟲」『詩と文学』二巻二輯、三・二十五 三頁(詩)

・「この年への課題」『声』四輯(叢書4)、三・三十 二〜四頁

・「春は曙」『多麻』四輯、四・十五 三六頁

・「彦根」『風流陣』六六冊、五・二十 二頁(俳句1)

・「風流陣絶句会抄」『風流陣』六六冊、同右 一五頁(署名「高祖」俳句2)

・「寸書」『華北詩人』五号(北京文化協会)、六か・日未詳 二頁 §

名「高祖」)

- ・「候鳥 叙事詩」『若草』一九卷一〇号、十・一 四〇～四二頁(詩)
- ・「食卓につきて — わが長歌」『短歌詩人』二二卷一〇号、十・一 四～五頁(詩)
- ・「わがひとの貧しく山羊はあたたかき — 山下青芝氏の近業『海の子』を拝見する」『琥珀』一〇卷一〇号、十・一 八～九頁
- ・「庭」『声』三輯(声発行所)、十・三十二～三頁(詩)
- ・「龍 あるひは『家庭』」『文藝汎論』一三卷一〇号、十一・一 二八～二九頁(詩)
- ・「編輯後記」『文藝汎論』一三卷一〇号、同右 三二頁(署名「高祖」)
- ・「一つの決意 批評と尺牘」『文藝台湾』六卷六号、十一・一 九七頁
- ・「美と倫理の書 — 安藤一郎氏の近著『静かなる炎』を読む」『蠟人形』一四卷一〇号、十一・一 一九頁
- ・「最近の詩を読む 十月号各誌を中心に」『若草』一九卷一〇号、十一・一 二〇頁
- ・「詩の深度」『詩と詩人』五卷一〇号、十一・一 三三～三四頁
- ・「朝」『短歌詩人』一二卷二一〇号、十一・一 一〇～一一頁(詩)

・「『翼燈』の詩人たち」『夏爐』二号、十一・日未詳 七～九頁§

- ・「詩人の句」『鷺』二輯、十一・一 一二～一三頁
 - ・「恢復期」『鷺』二輯、同右 二〇～二二頁(俳句9)
 - ・「この年の詩集概観」『文藝汎論』一三卷二二号、十二・一 六～一二、二六頁
 - ・「編輯後記」『文藝汎論』一三卷二二号、同右 二七頁(署名「高祖」)
 - ・「薙露歌」『短歌詩人』一二卷二二号、十二・一 三三～三三頁(詩)
 - ・「夜明け前」『六甲』一一卷一二号、十二・一 頁未詳(詩) §
 - ・「昭和通に降り立つ」AK放送、十二・二十三(詩) †
 - ・「神」『若い人』五卷五号、十二・二五 一二頁(詩)
 - ・「終焉」『若い人』五卷五号、同右 二三～二四頁
- 昭和十九(一九四四)年
- ・「女兒誕生」『三田文学』一九卷一〇号、一・一 一七～一八頁(詩)
 - ・「地球の距離」『文藝汎論』一四卷一〇号、一・一 二二頁(詩)
 - ・「編輯後記」『文藝汎論』一四卷一〇号、同右 頁数なし(裏表紙 署名「高祖」)
 - ・「海の子」『海の村』九卷一〇号(中央水産業会)、一・一

- ・「用意——警報発令」『経国』一〇巻六号、六・一 九二〜九三頁（詩）
- ・「蛙の子——わが長歌」『短歌詩人』一二巻六号、六・一八〜一〇頁（詩）
- ・「子と覚めて月夜の落葉きいてゐる」——仁村美津夫さんの句集を読む——『芝火』一二巻六号、六・一 一三〜一五頁§
- ・「鶯」『風流陣』六三冊、六・十 七頁
- ・「庚塚句会抄 四月」『風流陣』六三冊、同右 一五頁（署名「高祖」俳句1）
- ・「愉悅」『新文化』二三巻七号（第一書房）、七・一 三〇〜三二頁（詩）
- ・「通信」『短歌表現』一四八号（千葉市 表現社）、七・一 一六頁（書信）
- ・「九春九草」『鶯』一輯（石川県鹿島郡 鶯発行所）、七・一 一六〜一七頁（俳句9）
- ・「遮断機について——路上偶成」『文藝汎論』一三巻八号、八・一 一六〜一七頁（詩）
- ・「編輯後記」『文藝汎論』一三巻八号、同右 三三頁（署名「高祖」）
- ・「燕」『蠟人形』一四巻八号、八・一 一三頁
- ・「軽くなる」『蠟人形』一四巻八号、同右 一三頁
- ・「啊伝の行者 井上多喜三郎様におくる」『若草』一九巻八号、八・一 四〜五頁（詩）
- ・「八月某日（国民詩）」『経済ニッポン』七巻八号、八・一 四三頁（詩）
- ・「夜」『短歌詩人』一二巻八号、八・一 四頁（詩）
- ・「病牀詩集」『文藝汎論』一三巻九号、九・一 一二〜一三頁（詩）
- ・「編輯後記」『文藝汎論』一三巻九号、同右 三二頁（署名「高祖」）
- ・「氷の部屋・黄昏の部屋」『新詩論』七六号、九・一 一三四〜一三五頁
- ・「笑顔」『月刊文章』九巻九号、九・一 五頁（詩）§
- ・「田園秋色」『農政』五巻九号、九・一 五五頁（詩）
- ・「登山家のこと」『短歌詩人』一二巻九号、九・一 四〜五頁（詩）
- ・「晩夏」『夏爐』一号、九・日、頁未詳（詩）+
- ・「相模野抄 出版記念句会」『風流陣』六四冊、九・五 一五頁（署名「高祖」俳句2）
- ・「秋暁即事」『三田文学』一八巻二〇号、十・一 一七頁（詩）
- ・「現代詩と韻律の問題」『文藝汎論』一三巻一〇号、十・一 二三頁
- ・「やがて朝 退院第一日」『文藝汎論』一三巻一〇号、同右 二八頁（詩）
- ・「編輯後記」『文藝汎論』一三巻一〇号、同右 三三頁（署名「高祖」）

- ・「地水堰を蹴るとき 大詔奉戴一周年にして大詔奉戴の日を念ふ詩」『芝火』一二卷二号、二・一 一八〜一九頁(詩)
- ・「名ぐはしき七つの感状 —— 加藤建夫少将の遺影に」『若草』一九卷三号、三・一 六〜八頁(詩)
- ・「詩集『抒情飛行』の精神——村野四郎氏の近業に就て——」『文化組織』四卷二号(文化再発の会)、三・一 一六〜一八頁
- ・「私の座右銘その他」『松籟』三九号、三・一 一〇〜一一頁(アン「1 私の座右銘」「2 私の愛誦詩歌句」)
- ・「福寿草」『短歌詩人』一二卷三号、三・一 一八〜一九頁(詩)
- ・「転載詩」『短歌詩人』一二卷三号、同右 一八〜一九頁(詩「元朝へ」)
- ・「榛と虎杖の花と かへしのふみ」『文藝汎論』一三卷四号、四・一 二四〜二六頁
- ・「編輯後記」『文藝汎論』一三卷四号、同右 三二頁(署名「高祖」)
- ・「深夜の歌ひ手」『経済ニツポン』七卷四号(ダイヤモンド社)、四・一 六五頁(詩)
- ・「手紙」『経国』一〇卷四号、四・一 一三八〜一三九頁(詩)
- ・「春の田園」『農政』五卷四号、四・一 九六〜九七頁(詩)
- ・「掌について」『音楽教育』五卷四号(大日本出版)、四・一 一二〜二四頁(詩)
- ・「浅春 高村光太郎氏に」『琥珀』一〇卷四号、四・一 二二〜二三頁(詩)
- ・「邪宗門」と『思ひ出』の性格乖離」『若い人』五卷一号、四・五 二〇〜二三頁
- ・「ただく」『文藝汎論』一三卷五号、五・一 七頁
- ・「壁書 小早川隆景に倣ひて」『文藝汎論』一三卷五号、同右 二七頁(詩)
- ・「編輯後記」『文藝汎論』一三卷五号、同右 三二頁(署名「高祖」)
- ・「庭柯のうぐひす」『松籟』四〇号、五・一 一〇〜一三頁
- ・「名ぐはしき七つの感状」『短歌詩人』一二卷五号、五・一 二二〜二五頁(詩)
- ・「家」『三田文学』一八卷六号、六・一 三六〜三七頁(詩)
- ・「竹の輿」『文藝汎論』一三卷六号、六・一 二四〜二五頁(詩)
- ・「編輯後記」『文藝汎論』一三卷六号、同右 三二頁(署名「高祖」)
- ・「ことばの限界」『新詩論』七三号、六・一 八二〜八三頁
- ・「巨木」『月刊文章』九卷六号、六・一 五頁(詩)
- ・「笹沢美明氏の青年性 近業『海市帳』を読む」『蠟人形』一四卷六号、六・一 三六頁
- ・「詩の現代的性格 —— その実際の面に沿うて」『若草』一九卷六号、六・一 四〇〜四二頁

- ・「いまのうつつに」『経国』九卷二二号(財政情報社)、十二・一四八〜四九頁(詩)
- ・「この年の詩集を中心に」『文藝汎論』二二卷二二号、十二・一八〜二二頁
- ・「詩」『若草』一八卷二二号、十二・一一二〜一三三頁
- ・「龍のひげ抄」『新詩論』六七号、十二・一六〜七頁(詩)
- ・「秋夜即時」『詩叢』二卷二二号(秋田県北秋田郡 詩叢社)、十二・一四〜五頁(詩)
- ・「城左門私観」『若い人』四卷八号、十二・一三二〜三四頁
- ・「田園に囁くもの」『短歌詩人』一一卷二二号、十二・一一二〜一三三頁(詩)
- ・「転載詩」『短歌詩人』一一卷二二号、同右 一二〜一三頁(詩「独楽」)
- ・「第二年」『六甲』一〇卷二二号、十二・一八〜九頁
- ・「書架点心」『琥珀』九卷二二号、十二・一四四〜四五頁
- ・「田園調布より 手代木唾々子氏への書信」『黎明』一五卷号未詳(黎明発行所)、十二・日、頁未詳§
- ・「風流春秋」『風流陣』六一冊、十二・二一 一三頁(書信、俳句1)
- ・「風流陣句会抄」『風流陣』六一冊、同右 一五頁(署名「高祖」俳句5)

昭和十八(一九四三)年

- ・「面」『文藝汎論』一三卷一号、一・一四二〜四三頁(詩)
- ・「夢に白鷄をみる」『葦』巻号未詳、一・日、頁未詳(詩)
- §
- ・「新領土」『短歌詩人』一二卷一号、一・一一二〜一三三頁(詩)
- ・「転載詩」『短歌詩人』一二卷一号、同右 三七〜三八頁(詩「秋夜即時」)
- ・「わすれものについて」『茉莉』二〇輯、一・二十 一二〜一五頁(詩)
- ・「野田宇太郎詩集『旅愁』」『文藝汎論』一三卷二号、二・一一〜一二頁
- ・「元朝へ」『新風土』六卷二号、二・一四六〜四七頁(詩)
- ・「愛国詩の問題を繞つて ― 詩の友へのわが尺牘」『若草』一九卷二号、二・一八〜二〇頁
- ・「詩と生活との関聯」『詩叢』三卷二号、二・一一〜三頁
- ・「白秋の『桐の花』管見」『短歌詩人』一二卷二号、二・一六〜九頁
- ・「海宿に泊つ わが長歌」『短歌詩人』一二卷二号、同右 一〇〜一一頁(詩)
- ・「転載詩」『短歌詩人』一二卷二号、同右 一〇〜一一頁(詩「面」)

- ・「歌集『不二』の荒栲美」『短歌詩人』一一卷八号、八・一
一六～一七頁
 - ・「二人静か(二)」『短歌詩人』一一卷八号、同右 三一～
三三頁(服部忠志との連名)
 - ・「転載」『短歌詩人』一一卷八号、同右 三七頁(詩2「截
定」[山上放列])
 - ・「軽井沢にて」『三田文学』一七卷九号、九・一 六〇～六
一頁(詩)
 - ・「蒲原有明と日本象徴詩 近代詩源流の再検討として」『文
藝汎論』一二卷九号、九・一 一〇～一三頁
 - ・「おもひ印度へとぶ —— わが長歌」『短歌詩人』一一卷九
号、九・一 八～九頁(詩)
 - ・「二人静か その三」『短歌詩人』一一卷九号、同右 二八
～三〇頁(服部忠志との連名)
 - ・「青柳寺晚春図」『芝火』一一卷九号、九・一 頁未詳(詩)
- §
- ・「独楽」『文藝』一〇卷一〇号、十・一 三〇～三二頁(詩)
 - ・「新領土」『むらさき』九卷一〇号、十・一 一頁(詩)
 - ・「牛 朗読のための詩」『文藝汎論』一二卷二〇号、十・一
一〇～一一頁(詩)
 - ・「秋へおちる海」『日本詩壇』一〇卷一〇号、十・一 八頁
(詩)
 - ・「逕庭」を贈られて」『日本詩壇』一〇卷一〇号、同右
-
- 四三～四五頁
 - ・「山 (叙事詩)」『若草』一八卷一〇号、十・一 一八～二
三頁(詩)
 - ・「亡母七年」『短歌詩人』一一卷一〇号、十・一 一二～一
三頁(詩)
 - ・「二人静か (歌壇評)(その四)」『短歌詩人』一一卷一〇号、
同右 三〇～三一頁(服部忠志との連名)
 - ・「転載詩」『短歌詩人』一一卷一〇号、同右 三五～三六頁
(詩2「出発」「少年戦車兵」)
 - ・「せみ死す 八幡城太郎に」『琥珀』九卷一〇号、十・一
二二～二三頁(詩)
 - ・「田園に囁くもの」『農政』四卷一一号(農業報国聯盟、
十一・一 六八～六九頁(詩)
 - ・「三つの小品」『文藝汎論』一二卷一一号、十一・一 二〇
～二二頁
 - ・「苑」の詩人たち」『文藝汎論』一二卷一一号、同右 四
一頁
 - ・「秋祭にて —— わが長歌」『短歌詩人』一一卷一一号、十一・
一 一〇～一一頁(詩)
 - ・「転載詩」『短歌詩人』一一卷一一号、同右 一〇～一一頁
(詩「軽井沢にて」)
 - ・「二人静か (歌壇評)(その五)」『短歌詩人』一一卷一一号、
同右 三〇～三一頁(服部忠志との連名)

- 2 「天の磐戸ふたび展く」〔愛児肖像〕
- ・「八十八夜」『芝火』一一卷四号、四・一 頁未詳（詩）十
- ・「春惜む」『芝火』一一卷四号、同右 頁未詳十
- ・「ラジオ愛国詩朗読について」『文藝汎論』一二卷五号、五・一 三三八頁（アン）
- ・「通信抄」『詩と詩人』四卷四号（新潟県北魚沼郡 詩と詩人発行所）、五・一 一二二～一二三頁
- ・「赫夜姫について」『短歌詩人』一一卷五号、五・一 一二四～一二五頁（詩）
- ・「軽井沢孟秋」『短歌詩人』一一卷五号、同右 二四～二五頁（詩）
- ・「八十八夜」『短歌詩人』一一卷五号、同右 二五～二六頁（詩）
- ・「夜」『文藝汎論』一二卷六号、六・一 一四～一五頁（詩）
- ・「採蓮花歌」と『花粉』の造本術』『文藝汎論』一二卷六号、同右 四五～四六頁
- ・「春」『若い人』四卷五号、六・一 頁未詳（詩）§
- ・「本山桂川著『日本の祭礼』を読む」『國學院雜誌』四八卷六号、六・一 七四～七六頁
- ・「茅蜩記」『短歌詩人』一一卷六号、六・一 一四～一五頁（詩）
- ・「花冷えどきの句集『練習機』と『雲と蠶豆』について」『芝火』一一卷六号、六・一 一六～一七頁§

- ・「喚びあふもの『雲と蠶豆』への挨拶」『琥珀』九卷六号、六・一 三五～三六頁
- ・「かみなり」『文藝汎論』一二卷七号、七・一 三〇～三一頁
- ・「片隅のながめ 天の十二宮の内」『日本詩壇』一〇卷七号、七・一 一〇頁（詩）
- ・「淡彩」『短歌詩人』一一卷七号、七・一 一四～一五頁（詩）〈雪〉
- ・「二人静か（一）」『短歌詩人』一一卷七号、同右 一九～二〇頁（矢吹弘史との連名）
- ・「転載詩」『短歌詩人』一一卷七号、同右 三六頁（詩2）「春」〔夜〕
- ・「通信筒」『芝火』一一卷七号、七・一 一七頁（書信）
- ・「松蟬」同右 一九～二〇頁
- ・「風流陣句会抄 五月下浣」『風流陣』五九冊、七・十一 五頁（署名「保」俳句4）
- ・「最近の愛読書」『文藝汎論』一二卷八号、八・一 三九頁（アン）
- ・「出発」『月刊文章』八卷八号、八・一 一九～二〇頁（詩）
- ・「年齢」『若草』一八卷八号（宝文館）、八・一 二六～二八頁（詩）
- ・「少年戦車兵」『國學院雜誌』四八卷八号、八・一 四八～四九頁（詩）

- ・『四季の太陽』の歌人に」『短歌詩人』一〇巻二二号、十二・一二五～二六頁
 - ・「軽井沢より —— 丸木小屋・日録」『芝火』一〇巻二二号、十二・一 一〇～三〇頁
 - ・「エピグラムふう」に」『琥珀』八巻一、二、十二・一 二二六～二七頁（詩3）「藪蚊」「蟻」「ホッケー」
 - ・「忠告」『四季』六一号、十二・二十七 二〇～二二頁（詩）
- 昭和十七（一九四二）年

- ・「電車について」『文藝汎論』一二巻一、一・一 五八～六一頁（詩）
 - ・「詩集『春秋』の位相」『文藝汎論』一二巻一、同右 七一～七二頁
 - ・「弾く人のぬかない夜」『若い人』四巻一、一・一 二〇～二二頁（詩）§
 - ・「寒雁」『國學院雑誌』四八巻一（皇典講究所）、一・一 三六～三七頁（詩）
 - ・「如意宝珠 田中冬二氏に」『短歌詩人』一一巻一、一・一 一二～一三頁（詩）
 - ・「転載詩」『短歌詩人』一一巻一、同右 二六頁（詩2）「河」「エピグラムふう」に」
 - ・「軽井沢詩集」『芝火』一一巻一、一・一 頁未詳（詩）
- §

- ・「冬夜」『短歌詩人』一一巻二、二・一 二二～二三頁（詩）
- ・「転載」『短歌詩人』一一巻二、同右 二四～二六頁（詩5）「弾く人のぬかない夜」「電車について」「軽井沢詩集」「忠告」「寒雁」
- ・「愛児肖像 井上多喜三郎がまなこのうつしを届きたれば」『六甲』一〇巻二（神戸市 六甲発行所）、二・一 頁数なし（二頁 詩）
- ・「子供の遠近図」『芝火』一一巻二、二・一 二〇～二八頁

- ・「天の磐戸ふたたび展く」『文藝汎論』一二巻三、三・一 二八～三二頁（詩）
- ・「十二月八日といふ日」『短歌詩人』一一巻三、三・一 二二～二三頁（短歌14）
- ・「啓蟄」『芝火』一一巻三、三・一 四一～四三頁§
- ・「軽井沢孟秋 田中冬二氏に」『琥珀』九巻三、三・一 二六～二七頁（詩）
- ・「野長瀬正夫と詩集『故園の詩』」『文藝汎論』一二巻四、四・一 四二頁
- ・「愛国詩の昂揚 文藝汎論三月号の作品を読む」『文藝汎論』一二巻四、同右 五六～五七頁
- ・「戦の生理」『短歌詩人』一一巻四、四・一 一五～一六頁
- ・「転載」『短歌詩人』一一巻四、同右 二二～二三頁（詩）

- ・「廻転椅子(6) — 短歌詩人六月号所見 —」『短歌詩人』一〇卷七号、七・一 一六〜一九頁(矢吹弘史との連名)
- ・「Sine qua non」『短歌詩人』一〇卷七号、同右 一八〜一九頁(詩)
- ・「木馬集拜見」『芝火』一〇卷七号、七・日、頁未詳§
- ・「シナリオ作家詩を書く」『短歌詩人』一〇卷八号、八・一 一〇〜一二頁
- ・「依田義賢詩集『冬晴』について」『文藝汎論』一一卷九号、九・一 六八〜六九頁
- ・「軽井沢にて」『新領土』五二号、九・一 三頁
- ・「軽井沢日録」『短歌詩人』一〇卷九号、九・一 六〜七頁
- ・「高祖保詩集 禽のゐる五分間写生」『短歌詩人』一〇卷九号、同右 広告頁(裏表紙)
- ・「軽井沢より — 高原の丸木小屋・日録 —」『芝火』一〇卷九号、九・一 八〜二二頁
- ・「芝火るゝむ」『芝火』一〇卷九号、同右 三七頁
- ・「途」『茉莉』一九輯、九・十五 一一〜二二頁(詩)
- ・「諸家芳信」『文藝台湾』二卷六号、九・二十 五二頁
- ・「信濃游草」『文藝汎論』一一卷一〇号、十・一 七〇〜七一頁(詩)
- ・「されどわれは欲す」の著者へ『短歌詩人』一〇卷一〇号、十・一 五〜六頁
- ・「寂山抄 — わが長歌」『短歌詩人』一〇卷一〇号、同右

- 一〇〜一一頁(詩)
- ・「軽井沢より — 高原の丸木小屋・日録」『芝火』一〇卷一〇号、十・一 一四〜二九頁
- ・「胡桃の樹の下にて — 『天の狼』に就ての尺牘」『琥珀』八卷九号(大阪市 琥珀社)、十・一 四一〜四七頁
- ・「風流陣句会 九月」『風流陣』五四冊(風流陣発行所)、十・二十 一五頁(署名「高祖」俳句4)
- ・「静浦二章」『松籟』号未詳(柏崎市 傷痍軍人新潟療養所・赤坂山報国団)、十・日、頁未詳(詩) §
- ・「よりオリジナルな面を」『若い人』三卷一〇・一一号(若い人社)、十・二十七 頁未詳†
- ・「雪」『文藝汎論』一一卷一一号、十一・一 四八〜四九頁(詩)
- ・「詩の講演旅行のこと」『短歌詩人』一〇卷一一号、十一・一 一一〜一五頁
- ・「汽車について」『短歌詩人』一〇卷一一号、同右 一四〜一五頁(詩)
- ・「軽井沢より(三) — 丸木小屋・日録」『芝火』一〇卷一一号、十一・一 一四〜二三頁
- ・「静浦百句」『芝火』一〇卷一一号、同右 四八〜五三頁(俳句100、八幡城太郎と共作)
- ・「芝火るゝむ」『芝火』一〇卷一一号、同右 四八頁(書信)
- ・「河」『月刊文章』七卷一二号、十二・一 一七頁(詩)

頁§

- ・「挫折と敗北（秩序のないフラグマン）」『北』二輯、十二・十一頁§

昭和十六（一九四一）年

- ・「窓」『文藝汎論』一一卷一号、一・一四〇～四二頁（詩）
- ・「詩について」『短歌詩人』一〇卷一号、一・一七～一九頁
- ・「みづうみ」『短歌詩人』一〇卷一号、同右 一八～一九頁（詩）
- ・「詩の無限軌道」『句帖』六卷一号、一・一五～一七頁
- ・「詩について」『短歌詩人』一〇卷二号、二・一九～二〇頁
- ・「廻転椅子 短歌詩人・一月号を読む」『短歌詩人』一〇卷二号、同右 二二～二三頁（矢吹弘史との連名）
- ・「公孫樹のある家で噴水と孤燈のある庭を象る」『芝火』一〇卷二号（市川市 芝火社）、二・一四二～四三頁（詩）
- ・「芝火るゝむ」『芝火』一〇卷二号、同右 五〇頁（書信）
- ・「詩人の椅子（秩序のないフラグマン）」『北』三輯、二・十五 頁未詳§
- ・「臼井喜之介『ともしびの歌』批評」『新生』八輯、三・一一五頁
- ・「歌集『大和』の位置 — 前川佐美雄氏の歌品を読む」『短

歌詩人』一〇卷三号、三・一一五～一八頁

- ・「廻転椅子（2） 短歌詩人・二月号を読む」『短歌詩人』一〇卷三号、同右 二二～二三頁（矢吹弘史との連名）
- ・「詩について」『短歌詩人』一〇卷四号、四・一一七～一九頁
- ・「廻転椅子（三） — 短歌詩人・三月号所見」『短歌詩人』一〇卷四号、同右 二三～二四頁（矢吹弘史との連名）
- ・「小夜へのおとづれ」『芝火』一〇卷四号、四・一三九頁（書信）
- ・「芝火るゝむ」『芝火』一〇卷四号、同右 四四頁（書信）
- ・「試作」『芝火』一〇卷四号、同右 四五頁（俳句4）
- ・「軽蔑と讚美（わがま、なフラグマン）」『北』四輯、四・十 頁未詳§
- ・「雪もよひ」『文藝汎論』一一卷五号、五・一六四～六五 頁（詩）
- ・「廻転椅子（四） — 短歌詩人四月号所見」『短歌詩人』一〇卷五号、五・一一八～二〇頁（矢吹弘史との連名）
- ・「芝火るゝむ」『芝火』一〇卷五号、五・一三八頁（書信）
- ・「廻転椅子（5） — 短歌詩人五月号所見」『短歌詩人』一〇卷六号、六・一一四～一七頁（矢吹弘史との連名）
- ・「つばくろ」『短歌詩人』一〇卷六号、同右 一六～一七頁（詩）
- ・「二つの散文」『芝火』一〇卷六号、六・一四～一七頁

- ・「夏日銀行」『短歌詩人』九卷一号、一・一 八頁(短歌8)
- ・「《童話》書院の昼」『童話時代』五九号、一・一 八面
- ・「諸家芳信」『文藝台湾』二卷一号(台北市 文藝台湾社)、三・一 六六頁
- ・「再刊第一輯に寄す」『新生』二輯(新生編輯室)、三・一 一三〜一四頁(署名「高祖」)
- ・「田園調布の陽だまりにて(二月号への散見)」『短歌詩人』九卷三号、三・一 二〇〜二二頁
- ・「花の季節 この掌篇を井上多喜三郎様にさしあげる」『文藝汎論』一〇卷四号、四・一 八六〜八七頁
- ・「孟春の紙にしたためる歌」『短歌詩人』九卷四号、四・一 七頁(短歌5)
- ・「内部的獨白」『日本詩壇』八卷五号、五・一 五二〜五三頁
- ・「『新生』二輯を読む」『新生』三輯、五・一 一九頁(書信)
- ・「外界の眺め —— 歌壇作品の見わたし(1)」『短歌詩人』九卷五号、五・一 一四〜一五頁
- ・「外界の眺め —— 歌壇作品の見わたし(2)」『短歌詩人』九卷六号、六・一 一三〜一四頁
- ・「春のながめ」『新生』四輯、七・一 三頁(詩)
- ・「錆びた肉体」『短歌詩人』九卷七号、七・一 一〇頁(詩)
- ・「詩の貧困 —— 歌壇作品の見わたし(3)」『短歌詩人』九卷七号、同右 一五〜一六頁
- ・「茅蝸^{ひぐらし} 堀口大学先生に」『月曜』一〇号、七・二十五 頁
数なし(二一〜一四頁 詩)
- ・「わがエピグラム」『文藝汎論』一〇卷八号、八・一 二六〜二七頁(詩)
- ・「六月の歌誌巡礼 —— 歌壇作品の見わたし(四)」『短歌詩人』九卷八号、八・一 一三〜一五頁
- ・「乖離」『日本詩壇』八卷九号、九・一 一八頁(詩)
- ・「碑」の著者への私信」『日本詩壇』八卷九号、同右 四頁
- ・「二刀三札 —— 七月歌壇作品の見わたし(五)」『短歌詩人』九卷九号、九・一 一一〜一三頁
- ・「品隲の座より —— 八月・歌壇作品の見わたし(六)」『短歌詩人』九卷一〇号、十・一 一四〜一七頁
- ・「歎きうた」『短歌詩人』九卷一〇号、同右 二〇頁(詩)
- ・「よせがきの返信」『短歌詩人』九卷一〇号、同右 三七頁
- ・「岡崎詩集の位置 —— 『肉体輝燿』を中心に」『文藝汎論』一〇卷一二号、十二・一 四〇〜四二頁
- ・「文藝汎論社の今後の出版に就て(御回答順)」『文藝汎論』一〇卷一二号、同右 八二頁
- ・「詩集『眠りとともに』 —— 内田忠氏の近業」『句帖』五卷一二号、十二・一 一二二〜一二三頁
- ・「ゆけどゆけど春の夕の伽藍なし —— 手代木唾々子氏の作品を読む」『合歓』一卷一二号、十二・日未詳 七〜九

- ・「山下町の夜」『月曜』六号、二・六 頁数なし（二二）一
三頁（詩）
 - ・「貴氏の胸のポケットに今何が入ってますか。」『月曜』
六号、同右 頁数なし（二四頁 アン）
 - ・「月曜クラブ」『月曜』六号、同右 頁数なし（二四頁 私
信）
 - ・「月曜5の感想」『月曜』六号、同右 頁数なし（二九頁
アン）
 - ・「[Quatrain]としての短歌』の弁」『朝鮮短歌』三卷二号（京
城府 木間社）、三・一 二〜四頁
 - ・「都会の雪げしき」『朝鮮短歌』三卷二号、同右 一〜一
三頁（短歌12）
 - ・「湖」『文藝汎論』九卷四号、四・一 二八〜二九頁（詩）
 - ・「聖燭の炷の……」『朝鮮短歌』三卷三号、四・一 七〜八
頁（短歌12）
 - ・「偃鼠集」『朝鮮短歌』三卷四号、五・一 七〜九頁（短歌
17）
 - ・「美島梨雨氏への尺牘」『朝鮮短歌』三卷四号、同右 一四
頁
 - ・「一枚の墨西哥曆」『月曜』七号、六・十九 頁数なし（五
〜七頁 詩）
 - ・「春はどこから生れるか。」『月曜』七号、同右 頁数なし（一
三頁 アン）
 - ・「月曜6の感想」『月曜』七号、同右 頁数なし（二三）二
四頁 アン）
 - ・「各人各説」『文藝汎論』九卷七号、七・一 八五頁（A・
五月号の感想）「B・好きな作家）」
 - ・「晩夏」『日本詩壇』七卷六号、七・一 一六頁（詩）
 - ・「[Quatrain]」『日本詩壇』七卷六号、同右 一六頁（詩）
 - ・「野の上の世界」『短歌詩人』八卷七号、七・一 一〇頁（詩）
 - ・「舌」『文藝汎論』九卷八号、八・一 五二〜五三頁（詩）
 - ・「野づかさ」『朝鮮短歌』三卷七号、八・一 五〜六頁（短
歌10）
 - ・「天久卓夫と黒瀬正季」『朝鮮短歌』三卷七号、同右 頁未
詳+
 - ・「感想二つ」『短歌表現』一〇五号、八・一 一二〜一三頁
（書信）
 - ・「詩二篇」『國學院大學新聞』九九号、九・五 一面（詩2）
 - ・「川」『月曜』九号、十二・二十五 頁数なし（一七）一八
頁（詩）
 - ・「湖」『月曜』九号、同右 頁数なし（二八頁 詩）
- 昭和十五（一九四〇）年**
- ・「一日戦死」『文藝汎論』一〇卷一号、一・一 三四〜三五
頁（詩）
 - ・「飢餓」『文藝汎論』一〇卷一号、同右 三五頁（詩）

アン)

・「早春の散歩」『月曜』三号、同右 頁数なし(三一頁 アン)

・「春のゆふべ」『文藝汎論』八巻五号、五・一 四六〜四七頁(詩)

・「若葉のころ」『月曜』四号、六・二十 頁数なし(七頁 アン)

・「孤筇わけ入る山」『月曜』四号、同右 頁数なし(一五〜一六頁 詩)

・「月曜3の感想」『月曜』四号、同右 頁数なし(二四頁 アン)

・「藤澤省吾氏詩集『我れ汝の足を洗はずば』」『セルパン』九〇号、七・一 広告(八五)頁

・「静夜微韻」『日本詩壇』六巻七号、七・一 二九頁(詩)

・「ハガキにかきつけた詩」『日本カトリック新聞』六六五号、七・十七 四面(詩)

・「和蘭陀石竹のかげ」『茉莉』一六輯、七・二十 二六〜二七頁(詩)

・「尺牘」『大阪詩人』九冊、七・二十五 二六〜二七頁

・「尺牘」『大阪詩人』九冊、同右 三〇〜三一頁

・「和蘭陀石竹のかげ」『文藝汎論』八巻九号、九・一 二四〜二五頁(詩)

・「蒼朮を焚いて」『日本詩壇』六巻一〇号、十・一 二四〜

二六頁(詩)

・「カオスの鶴」への書翰」『日本詩壇』六巻一〇号、同右 八三〜八四頁

・「夜振の灯見ゆ」『月曜』五号、十・三 頁数なし(一二〜一五頁 詩)

・「浴衣に就いて」『月曜』五号、同右 頁数なし(一六頁 アン)

・「夜のひきあけ」『月曜』五号、同右 頁数なし(四六〜四七頁 詩)

・「秋の祝祭の燈に翳す 最近の鑑賞」『句帖』三巻一〇号、十一・一 八〜一二頁

・「既往一ヶ年を顧みて戦争詩としてすぐれてあると思はれた作品及其の作者と発表誌名」『詩生活』五巻一二号、十二・一 四五頁(アン)

昭和十四(一九三九)年

・「爾曹還りきたりてわが許にあり A MASAYUKI TACHIKAWA」『文藝汎論』九巻一号、一・一 三二〜三三頁(詩)

・「葦酒山門に入る…… 詩と短歌との関連」『短歌詩人』八巻二号、二・一 六〜七頁

・「各人各説」『文藝汎論』九巻二号、二・一 八九頁(B・昭和十三年度優秀詩集)

- ・「夏徂く」『文藝汎論』六卷一―一頁、同右 一―一頁(詩)
 - ・「浜の植木市」『春聯』三号、十一・十八 頁数なし(四頁 五頁 詩)
 - ・「はがき回答」『モラル』三卷一―二号、十二・一 頁未詳
 - ・「うぐひす ――その一齣」『句帖』一卷一―二号、十二・一 四〇―四二頁(詩)
- 昭和十二(一九三七)年**
- ・「前夜」『近代短歌』七卷一輯(大阪市 近代社)、一・十 頁未詳(詩) §
 - ・「孟春」『文藝汎論』七卷二号、二・一 二―三頁(詩)
 - ・「年齢」『春聯』四号、三・十二 頁数なし(一―一―二頁 詩)
 - ・「白いポスト」『春聯』四号、同右 頁数なし(二四頁 私 信)
 - ・「書齋月評」『句帖』二卷五号、五・一 七―一―一頁
 - ・「詩のなまなましさ 月評」『句帖』二卷六号、六・一 五 頁 九頁
 - ・「随筆集『茶煙閑語』を読んで」『文藝汎論』七卷七号、七・一 頁数なし(目次前広告頁)
 - ・「淡彩 (sketch)」『春聯』五号、七・十 頁数なし(五 頁 六頁 詩)
 - ・「燕のくる門」『文藝汎論』七卷八号、八・一 二―三頁(詩)
- ・「朧光の一本の麦」『句帖』二卷八号、八・一 六―一〇頁
 - ・「松高風有一声秋」『木間』一卷三号(京城府 木間社)、九・一 二―四頁
 - ・「はがきだより」『木間』一卷三号、同右 一四頁(書信)
 - ・「天の美祿」『詩報』一年二号、九・十五 六頁
 - ・「5の感想」『春聯』六号、十一・十 頁数なし(九頁 ア ン)
 - ・「偃鼠記」二次『月曜』(滋賀県蒲生郡 月曜発行所)一号、 十一・十五 頁数なし(一〇―一―一頁 詩)
 - ・「小文規則のこと」『文藝汎論』七卷一―二号、十二・一 四 八―四九頁
 - ・「粉雪」『茉莉』一五輯、十二・二十五 二四―二五頁(詩)
 - ・「春聯6と月曜1の感想」『月曜』二号、十二・二十五 頁 数なし(二二頁 アン)
- 昭和十三(一九三八)年**
- ・「墓碑銘」『文藝汎論』八卷一号、一・一 五六―五七頁(詩)
 - ・「車中即事 遮光の布が深海の昆布のやうにゆれる下でかきと めた話」『詩生活』五卷一号(詩生活発行所)、一・一 一 三―一五頁(詩)
 - ・「落葉哀蟬曲」をよむ人』『月曜』三号、四・二十八 頁 数なし(九―一〇頁 詩)
 - ・「月曜2の感想」『月曜』三号、同右 頁数なし(一二頁

- ・「六号雜記」『苑』六号、同右 頁数なし(四九頁)
- ・「各人各説」『文藝汎論』六卷二号、二・一 七六頁(A・新聞に就ての感想)「B・貴下の好意を持たれる外国」
- ・「詩壇諸家に同人雜誌を問ふ」『日本詩壇』四卷二号、二・一 七一頁(アン)
- ・「われた太陽」『椎の木』五年三号、三・一 四三頁
- ・「すでに歳が老^かけて」『大阪詩人』五輯(大阪詩人倶楽部)、三・十五 四〇五頁(詩)
- ・「批判」『文藝汎論』六卷四号、四・一 一四〇一五頁(詩)
- ・「枯れた深夜の鴉」『日本詩壇』四卷四号、四・一 四六〇四七頁(詩)
- ・「与へていふ」『現代詩』一卷三号、五・一 一四〇一五頁(詩)
- ・「悼歌一首」『筒台詩歌』九輯(神戸商業大学内詩歌句同好会)、五・三十 一頁(短歌1)
- ・「八十八夜」『椎の木』五年六号、六・一 一〇〇一頁(詩)
- ・「浜、往来」『句帖』一卷六号(句帖社)、六・一 二四〇二五頁(詩2「浜、往来」「草店月初冷」)
- ・「各人各説」『文藝汎論』六卷七号、七・一 五一頁(A・五月号の読後感)
- ・「諸家の言葉」『モラル』三卷七号(モラル発行所)、七・一 四二頁(書信)
- ・「天の雫」『文藝汎論』六卷八号、八・一 一二〇一三頁(詩)

- ・「各人各説」『文藝汎論』六卷八号、同右 六四頁(A・六月号の読後感)
- ・「貧窮問答の歌」をよむ『日本詩壇』四卷八号、八・一 二二〇二二頁(詩)
- ・「阿呆」『春聯』二号(滋賀県蒲生郡 月曜発行所)、八・十五 頁数なし(三頁 詩)
- ・「散歩する ―秋の詩とつれだつて―」『東洋大学新聞』一三五号、八・二十三 二面
- ・「decomposition ニコライ・ゴゴリの鼻に倣ひ」『整態派』八号(小樽市 ポエジイ社)、九・一 一頁(詩)
- ・「孟秋節に布べるうた ―一首をひと、一首はわれに―」『茉莉』一三輯(台中州 茉莉社)、九・二十 四五〇四六頁(短歌2) §
- ・「湖のほとりへ」『窓』八卷号未詳、九・日未詳 二〇四頁 §
- ・「湖べり」『日本詩壇』四卷一〇号、十・一 四一頁(詩)
- ・「もどり橋」『日本詩壇』四卷一〇号、同右 四一頁(詩)
- ・「枯野だより」『日本詩壇』四卷一〇号、同右 四一〇四二頁(詩)
- ・「兎山敬一詩集について 二」『短歌表現』七一号(表現社)、十・一 二九頁(書信)
- ・「ふるびた思想の野で」『文藝汎論』六卷二二号、十一・一 一〇〇一二頁(詩)

(詩)

- ・『Sine qua non』『苑』一号(月刊 苑発行所)、六・十五三七～三九頁(詩)
- ・『六号雜記』『苑』一号、同右 頁数なし(四八頁)
- ・『近況録A』『わか芽』三卷六号、六・十五 二二頁(書信)
- ・『各人各説』『文藝汎論』五卷七号、七・一 六二頁(A・始めて読まれた詩集は?)「B・始めて読まれた小説は?」
- ・『プルシヤ頌の姿態』『青樹』五冊(京都市 青樹社)、七・一一二頁
- ・『駄路亭午』『苑』二号、七・十五 四四頁(詩)
- ・『六号雜記』『苑』二号、同右 五二頁
- ・『湖水など』『文藝汎論』五卷八号、八・一 一一頁(詩)
- ・『各人各説』『文藝汎論』五卷八号、同右 五二頁(A・夏の思ひ出)
- ・『夏の寫生帳から』『神の国』一五卷八号、八・一 四四～四六頁(詩3 「八ツ手と湖」「神秘のかけら」「哀訴」)
- ・『哀訴』『苑』三号、八・十五 九頁(詩)
- ・『六号雜記』『苑』三号、同右 五二頁
- ・『乾直恵 詩集 花卉』『苑』三号、同右 広告(五三) 頁
- ・『河伯』『日本詩壇』三卷九号、九・一 四六～四七頁(詩)
- ・『新秋賦』『窓』七卷三号、九・五 三頁
- ・『媽祖祭を手にして』『媽祖』六冊、九・十 二七～二八頁(西川満 『媽祖祭』 媽祖書房、昭和十・四・八 附録「媽

「祖祭を手にして」二～三頁に抄録)

- ・『歌の山脈とそして詩の金鉱と』『苑』四号、九・二十五四〇～四七頁
 - ・『六号雜記』『苑』四号、同右 頁数なし(五八頁)
 - ・『牧歌的』『東洋大学新聞』一二五号、九・二十七 四面(詩)
 - ・『鶴をもつた老子』『神の国』一五卷一〇号、十・一 四四～四六頁(詩)
 - ・『掌上の噴水 あそびのある時評』『苑』五号、十・二十五五〇～五三頁(「詩人ノ没時代性」「詩集の場合」)
 - ・『各人各説』『文藝汎論』五卷一一号、十一・一 七二頁(B・秋の草花)
 - ・『近況録』『わか芽』三卷一一号、十一・五 二八頁(書信)
- 昭和十一(一九三六)年
- ・『鶴をもつた老子』『文藝汎論』六卷一、一・一 二二～二三頁(詩)
 - ・『各人各説』『文藝汎論』六卷一、同右 六〇頁(A・最近に愛読したものに就て)「B・昭和十一年に對しての希望」
 - ・『二極の反撥親和 —— 百田宗治氏の装置にみる』『日本詩壇』四卷一、一・一 九五～九六頁
 - ・『薙露歌』—— 古調もて謡ひかへたる』『苑』六号、一・二二 十五 三六～三七頁(詩)
 - ・『新刊スクラップ』『苑』六号、同右 四四～四六頁

II 誌紙編(昭和十〜十九年)

昭和十(一九三五)年

- ・「東方聖書 —— Max Müllerに借りの名で」『文藝汎論』五卷一号、一・一 四六〜四七頁(詩)
- ・「近況録」『わか芽』三卷一号、一・一 三〇頁(書信)
- ・「去年の雪いづこ うた八首」『神の国』一五卷一号、一・一 七〇〜七一頁(短歌8)
- ・「各人各説」『文藝汎論』五卷二号、二・一 五九頁(A・最近の御愛読書批評(雑誌も可)「B・どんな本の出版をご希望ですか?」)
- ・「詩律」第三号批評「詩律」一卷四号、二・一 頁未詳
- ・「Mangarkunyerkunya賛」『媽祖』三冊(台北市 媽祖書房)、二・一 二六〜二七頁(詩)
- ・「各人各説」『文藝汎論』五卷三号、三・一 四八頁(A・一番好きな詩集に就て)「B・一番好きな翻訳小説に就て)」
- ・「十分間喜劇 または『蝙蝠のやうな男』」『日本詩壇』三卷三号(大阪府布施市 日本詩壇発行所)、三・一 二七〜二九頁(詩)
- ・「囲爐裏と榎火 短歌」『神の国』一五卷三号、三・一 六二〜六四頁(短歌11)
- ・「泣いた乾魚(支那古詩から)」『童話時代』一七号、三・一 一面
- ・「釣燭台の下で書いた歌」『椎の木』四年四号、四・一 三〇〜三二頁(短歌4)
- ・「窺き機巧ふう」湖べりの冬季(メモリアル)『文藝汎論』五卷四号、四・一 一二〜一三頁(詩)
- ・「各人各説」『文藝汎論』五卷四号、同右 五四頁(B・文藝汎論に対しての希望)
- ・「ひかりと闇と」『神の国』一五卷四号、四・一 四二〜四九頁
- ・「近況録」『わか芽』三卷四号、四・一 三一頁(書信)
- ・「雨趣八題」『神の国』一五卷五号、五・一 四三〜四五頁(詩)
- ・「五分間の揺れに掩する —— 技巧主義短歌管見」『窓』七卷一号、五・一 三五〜四頁
- ・「湖上風物誌」『わか芽』三卷五号、五・一 八〜九頁(詩11「うみどり」「砂上音楽」「四季」「入江のほとりでは」「雪の二行詩」「アナクロニズム」「湖近くして夏きたることはやし」「夜あるき」「夜あるき」詩人と小説家と)『蕪村』[Sine qua non]
- ・「近況録」『わか芽』三卷五号、同右 三一頁(書信)
- ・「てがるな緑化季」『文藝汎論』五卷六号、六・一 一一頁

吉備路文学館、慶應義塾大学三田メディアセンター、県立神奈川近代文学館、県立彦根東高等学校史料館、県立山梨文学館、國學院大学図書館、金光図書館、滋賀大学付属図書館、白鳥省吾記念館、東京文化会館音楽資料室、同志社大学人文科学研究所、東洋大学井上円了記念学術センター、長岡市立中央図書館、新村堂書店、日本近代文学館、日本現代詩歌文学館、俳句文学館、彦根市立図書館舟橋聖一文庫、扶桑書房、佛教大学図書館、町田市市民文学館ことばらんど、立命館大学総合情報センター、同学メディアライブラリー。皆様には衷心からの深謝の意を申し述べたい。

参考となった主な文献(発行年月順)を次に列挙しておく。

- ・慶應義塾三田文学ライブラリー編『三田文学総目次』(講談社、昭五十一・七)
- ・藤本寿彦「月刊『苑』総目次」(『練習生』五号、昭五十八・四)
- ・浦西和彦・青山毅編「雑誌新聞総目次索引解題集覧」(谷沢永一・吉田熙生編『鑑賞 日本現代文学別巻 現代文学入門』角川書店、昭六十・五)
- ・佐久間保明編『「文章倶楽部」総目次・索引』(不二出版、昭六十・六)
- ・三浦仁編『日本近代詩作品年表 昭和篇』(秋山書店、昭六十一・二)
- ・小田切進編『増補改訂 現代日本文芸総覧』上・下・補巻

(明治文献資料刊行会、平四・十二)

- ・現代詩誌総覧編集委員会編『現代詩誌総覧』③④⑤⑥⑦(日外アソシエーツ、平八・三、九・七、十・一、十・七、十・十二)
 - ・志賀英夫『戦前の詩誌・半世紀の年譜』(詩画工房、平十四・一)
 - ・外村彰「『月曜』『春聯』ほか細目稿——井上多喜三郎発行誌総覧」(『大阪産業大学論集 人文科学編』一〇八号、平十四・十)
 - ・西村将洋「神奈川近代文学館蔵 俳句雑誌『風流陣』総目次——『HAIKAI DU JAPON』の軌跡」(『同志社国文学』五九号、平十五・十二)
 - ・佐々木靖章「高祖保主宰『門』の目次と解題——北国ルート」の詩人たち(1)——」(『文献探索2005』文献探索研究会、平十八・五)
 - ・和田博文監修『現代詩1920—1944—モダンイズム詩誌作品要覧』(日外アソシエーツ、平十八・十)
 - ・佐々木靖章「高祖保著作年譜稿」(『文献探索2006』文献探索研究会、平十八・十一)
- これらのほか、宮部修氏の所持しておられた高祖保作品のスクラップ帳、また『短歌詩人』昭和十七年一月号から十九年三月号まで掲載されていた転載欄、備忘欄も参考となった。

高祖保作品年表（二）

外村 彰

拙稿は『大阪産業大学論集 人文・社会科学編』前号に発表した高祖保（一九一〇～一九四五）の年次別作品表の続編である。全集編纂（二〇一〇年龜鳴屋刊の予定）を期しての掲載で、今回は「Ⅱ 誌紙編」の昭和十年以降を記載した。以下に凡例を記す。

「Ⅱ 誌紙編」の表記は「Ⅰ 書目編」に準じ、発表年月日順に列挙した。順に「題目」巻号数、発行年月日 頁数を記した（再録も含む）。なお巻号数の「第」は略記し、「題目」内の「」については『』の表記で統一した。発行所等は誌名や巻号数の下の（ ）内に適宜記した。また「題目・発表誌紙未詳」、「歿後発行の誌紙」も付記しておいた。

作品表のうち、詩はそれぞれの末尾に「（詩）」と注記し、複数ある場合は算用数字でその数を記した。短歌・俳句は全ての数を（ ）内に注記してある。散文は評論・エッセイの場合は注せず、書信やアンケート（「アン」と略記）のみを記した。また署名で「高祖保」以外のもの、そのほか必要に

応じて（ ）内に注記した場合もある。

なお宮部修氏が保存しておられたスクラップ頁のみ所見で、掲載誌未見の資料には「§」を、現在まで未見の文献については「†」を、それぞれ末尾に付した。

資料の収集にあたり協力をいただいた様々な方々や機関を、あらためて以下に記しておく。

個人的にお世話になった方々（五十音順）——阿部保彦、荒島浩雅、市川源一、志賀英夫、征矢哲郎、武川龍雄、はごまひろ福、とよみ畠山義郎、服部晋介、前田静秋、三浦節夫、山口正明、山本つぼみ、六條比呂美、和田博文（敬称略）。

直接、調査でお世話になった諸機関（五十音順）——旭川市中央図書館、芦屋市立美術博物館富田碎花文庫、上野学園図書館、大阪市立中央図書館、大田区立馬込図書館城昌幸記念文庫、大本本部教学研究所・天恩郷資料室、岡山県立図書館、岡山大学図書館、柏崎市立図書館（ソフィアセンター）、